

平成22年

第9回

女と男の一行詩

ひとひと



応募者数 549 名
応募総数 1,148 点

最優秀賞

輝ける 未来を作る僕たちに

男も女も関係ない

自分の作品が入賞したと聞いてすごく驚きました。未来を決め、明るい未来にすることは人ならば誰もができる。そこに性別で差別なんかない。そんな気持ちで作りました。

松本憂二さん

優秀賞

なくそうよ 女女(じょじょ)に男男(だんだん) 男女の差

この作品は目と耳でどちらでも、この作品を読んでもらった方が感じてもらえるようにしました。そして男女差別が少しでもなくなれば嬉しい限りで

真継秀幸さん

優秀賞

おかえりよ 父のいじばに 母のただいま

この作品は、母が働いていて父が家事をしていて、仕事から帰って来た母と父の会話です。このような男女関係の家族が憧れたので書きました。

森田友希さん

入選

無くそう男・女(ひと)の壁 築こう女・男の輪を

社会組織や家庭での作業分担は、性別や年齢に因らず、持ち味や能力を生かせる仕組みに。互いを認めあい助け合う気持ちがあれば、いい社会になると思います。

清水重喜さん

入選

君らしさそこに男女は 関係ない

最近では性同一障害の方なども多く、「くなくで自分らしさを生かして活躍されているのでそういうところから思いつきました。そういうことです。

杉山大さん

入選

人として生まれた日には なかった差きつとつくれる 差のない社会

赤ちゃんのぎゅっと握られた手の中には夢と希望が詰まっていると聞きます。手を開いて夢と希望を求めて生きていくその時には差のない社会になって欲しいと。

南由起子さん